



お・も・て・な・し、そして 様々な工夫

校長 大角 勝之

オリンピックが終了し、パラリンピックが始まりました。開催そのものに疑問の声もありましたが、私たちはたくさんの感動をもらいました。

8年前のオリンピック誘致の際、東京は日本人の心遣いである「お・も・て・な・し」をメインにプレゼンテーションを行いました。さらに「復興五輪」をテーマに掲げました。今回、コロナのために「おもてなし」も「復興五輪」も満足にできなかったとの指摘もありますが、実際にはどうなのでしょう。

競技中心の報道に隠れ、あまり表に出てこない取組をいくつか調べてみました。

1 世界初の取り組み「ホストタウン・イニシアティブ」

「ホストタウン・イニシアティブ」とは、全国の市町村を大会参加国・地域の「ホストタウン」として登録し、人や文化、経済の交流を図るものです。

例えば土別市では、市の特長を生かして台湾のウエイトリフティングチームの合宿を受け入れました。その際、蕎麦打ちや茶道、弓道などの日本文化の体験をしたり、地元の農作物を使った料理が振る舞われたりしました。文化や心の交流が行われたのです。

この取組は、どこの市町村でもたいへん好評で、海外の選手からは「外国に来て自分の国にいるように応援してもらえてとても安心する」などという声が上がっています。

2 ボランティアへの感謝

選手村で迷子になった外国人選手がいました。その様子を見た一人の日本人ボランティアが声をかけ、会場への行き方を伝えました。その選手は、「このボランティアがいなければ、ぼくはメダルを取ることができなかった。」と最大限の感謝の気持ちを述べています。

また、ボート競技で4大会連続金メダルに輝いたイギリスの選手はツイッターで、日本の空港で見たおもてなしに感謝を受けたと発信しています。(右の写真)



4つの大会に出場しているレジェンドが、日本で感じた「おもてなし」。ツイッターに発信したくなるほど感動が大きかったのでしょう。

これらはほんの一部ですが、東京をはじめとする全国の自治体や多くのボランティアが、素敵な「おもてなし」で海外の人たちに感動を与えていたのです。

3 復興五輪

大会では、福島産農作物をふんだんに使った料理が出されました。ポスターで安全性をPRし、味についても好評でした。

また、聖火リレートーチには東日本大震災の仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用、選手村ピレシヅプラザは日本全国から集めた木材でできており、随所で復興をアピールしました。



このような、世界から賞賛される日本人の「気遣い」、「思いやり」、「おもてなしの心」そして「様々な工夫」を学校教育でも大切にしていきたいと考えています。

今後とも子ども達のために、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

7・8月の学校日記

《少年団親子交流会》

毎年、少年団主催で行っている『親子キャンプ』ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。今年度になってもコロナは治まらない中でしたが、いろいろなことが中止や縮小になる中で少年団・PTAの役員みなさんが子どもたちに一つでも楽しい思い出を残したいという強い思いから、実施されました。

前半はみんなで花火をしました。手持ち花火をしたり、大きい花火が上がったりして、とても盛り上がりました。

後半は、学校内で肝試しをしました。初めにプレールームに集まって、怖い動画を見た後、真っ暗な学校の中を3つのグループに分かれて廻りました。あちこちから大きな声が聞こえてきていました。

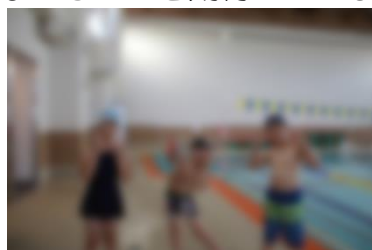
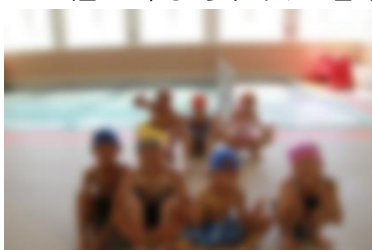
子どもたちにとって、コロナ禍の夏休みの中で少しでも楽しい思い出として残ってくれたらいいですね。

少年団役員の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様には、たくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



《水泳学習無事終了しました》

今年も4回の水泳学習を無事終えることができました。4回の水泳学習を通して随分と成長しました。それぞれの目標に向かって、水に慣れたり、息継ぎのコツをつかんだり、距離を伸ばしたりすることができました。楽しみながらも目標に向けて努力してきたことで自信が深まり、次の活動につながることを期待しています。

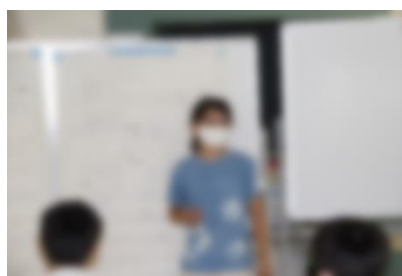
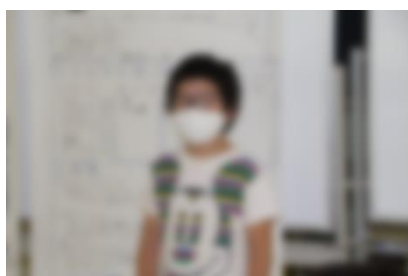
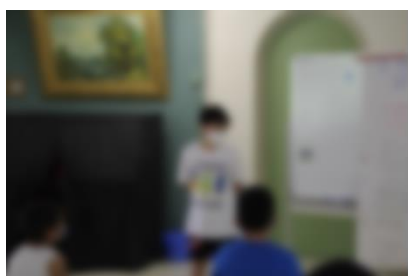
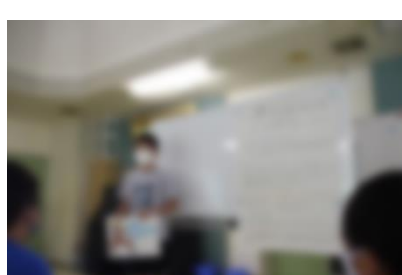
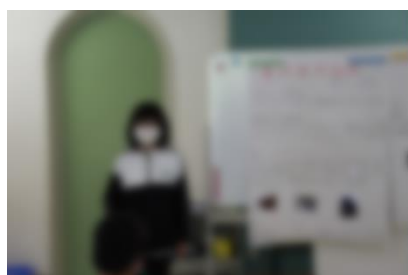
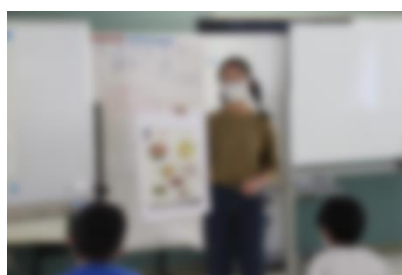
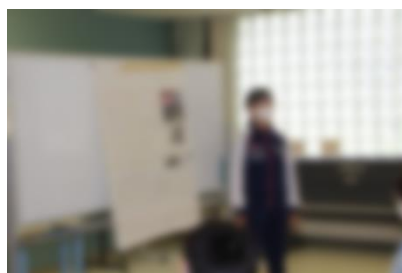
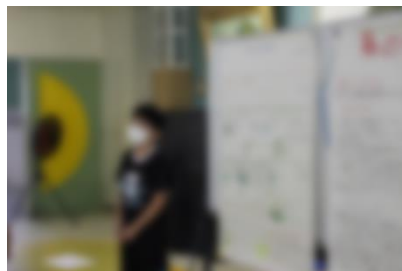


《自由研究発表会》

8月20日（金）と23日（月）に夏休みの成果を発表し合う「自由研究発表会」を行いました。4年生以上が発表し、低学年はその様子を見て、後日ステップタイム（朝学習）で発表するときの参考にする方法をとっています。発表会では、調べた理由やわかったこと等を発表していました。写真や図などを使いわかりやすく説明するなど、発表の仕方にも工夫が見られ、見る人を引きつける立派な発表でした。また、質問や感想なども活発に出され、有意義な時間になりました。

今年の自由研究のテーマを掲載しておりますのでご覧ください。

- ◎1年生
 - ◎1年生
 - ◎2年生
 - ◎2年生
 - ◎2年生
 - ◎2年生
 - ◎2年生
 - ◎4年生
 - ◎4年生
 - ◎4年生
 - ◎5年生
 - ◎5年生
 - ◎5年生
 - ◎6年生
 - ◎6年生
 - ◎6年生
- ・『しいたけのそだてかた』
 - ・『あついでモーダッシュ』
 - ・『ビーダマめいろ』
 - ・『ゴジラノート』
 - ・『わたしのすきなもの』
 - ・『おかあさんグッズ』
 - ・『ミステリーせん車』
 - ・『きけんな動物』
 - ・『かめのひみつ』
 - ・『さるが言葉を話すには』
 - ・『鳥のひみつ』
 - ・『美瑛の植物』
 - ・『美瑛の動物』
 - ・『アイヌの不思議』
 - ・『人間がかめはめ波をうつ方法』
 - ・『十勝岳がもたらした大災害』



9月行事予定

日	曜	行	事
1	水	全校朝会 集合学習（低学年）	安全点検日
2	木	研修8	
3	金	漢字検定	
4	土	朗根内神社祭	
5	日	開校記念日	
6	月	視力・身体測定	
7	火		
8	水	ふるさと学習（6年）	
9	木	俵真布神社祭 コーディネーター会議	
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	秋の環境整備 ふるさと学習（4年）	
14	火	児童会⑦	
15	水	クラブ④	
16	木	特6 職員会議⑨	
17	金	避難訓練 防災教室	
18	土		
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火	児童会選挙	
22	水	ふるさと学習（5年） 特別支援保護者面談週間（～27日）	
23	木	秋分の日	
24	金	社会見学（1～4年）	
25	土	少年団秋の資源回収	
26	日		
27	月	児童会⑧ 出前授業6年	
28	火	研修9	
29	水		
30	木	午前授業 前期通知表配付日	上教研中部地区研究大会

《緊急事態宣言発令に関わる対応について》

報道でもご存じのように、8月27日（金）より北海道に緊急事態宣言が発令されました。それを受け、本校として下記のように対応します。

- 感染対策を講じてもリスクが高い活動は、当面の間中止といたします。
- 校内で行われている異学年を通した活動は、当面の間中止といたします。
- 9月10日（金）の特別支援交流学習は中止となります。
- 漢字検定は、十分距離を確保した上で、体育館で行います。
- 医療への本校職員の同行は当面の間中止いたします。